

自治体との提携状況（具体例）

(1) **テーマ設定講座** 鹿児島県立埋蔵文化財センター 藤島 潤 氏

本御内遺跡の発掘調査報告から国分高校とその周辺の歴史について学び、課題研究テーマ設定の参考とし、歴史探究や考古学探究について学んだ。

本御内遺跡は弥生時代から近代までの幅広い時代の遺物が出土している遺跡であり、遺物も多種多様な物が出土しているということで、主な出土品の説明があった。古代では瓦が出土しており、遺跡から発見された溝とともに、国分寺の変遷に関する大きな手がかりとなるのではないかという説明があった。また、遺跡の調査をする際に、古い地図も活用し、遺跡の発掘調査の結果を他の資料とも照らし合わせながら、研究を進めていくといった説明であった。課題研究を行う際の手法として、インターネットや本で調べてから、図書館や大学に行き、更に詳しく調べていくといった説明があった。

(2) **統計学講座** 鹿児島県企画部統計課 課長補佐 吉村 正三 氏  
同指導普及係 主事 窪田 杏樹 氏

G Sの活動状況を踏まえ、正しい統計を作成する、あるいは分析するために、統計に関する基本的知識を得るための講座を設置した。課題研究を進めていく中で、今回得た知識をもとに統計を作成あるいは分析する能力を高めていくものと期待できる。

大切なことは、「何をグラフで伝えたいのか」ということである。作成については、時期や誰に何人調べたか、出所の資料名の明記に留意すべきである。タイトルについては、呼びかけの形式等で引きつける部分を持たせるようにし、副題を工夫し、配置については、大きさ・色・文字に留意して見やすくすることが大切である。また、著作権には十分留意する必要性も学んだ。また統計を学ぶことで、「正しく情報を見る力」「物事を客観的に見る目」「合理的な考え方」が身につくことを学んだ。



(3) **サイエンス研修** 久保田牧遺跡発掘現場実習 鹿児島県立埋蔵文化財センター

古墳時代の大型住居跡や中世の掘立柱建物跡など、多様な時代の遺構や遺物が出土している久保田牧遺跡（霧島市）での現地研修を行った。遺跡や遺物、地層についても説明があり、遺跡での発掘体験を行った。

また、文系のテーマ設定・研究方法についての講義があり、テーマ設定を設定するときの手順や研究が行き詰まったときの考え方の説明があり、生徒にとっては課題研究の基本となる事柄をわかりやすく学ぶことができた。



(4) **サイエンス研修** 鹿児島県工業技術センター

鹿児島県工業技術センターでは、工業技術センターの役割や入れ歯洗浄機、シラスを使った製品、乾燥酵母を活用した味噌・焼酎等、地域イノベーションに繋がる研究開発についての講義があった。その後、個別に施設の見学、製品の説明などをしていただいた。

(5) **サイエンス研修** 鹿児島県立博物館

県立博物館では、展示コーナーや博物館バックヤードの見学をして、鹿児島県の自然環境とそれを展示する博物館の仕事等について学んだ。博物館バックヤードは、どの生徒も初めて足を踏み入れる場であり、県内各地から採集された動植物標本の種類の多さや保存の方法などを大変興味深そうに見入っていた。

(6) **世界に誇る霧島学** 霧島市商工観光部霧島PR課総務企画グループ 亀石 和孝 氏

国内屈指の温泉をはじめ、森林セラピー基地・国立公園としての側面や伝統産業、国際イベントなどについて、歴史的視点や統計的視点、実際の取組から見える視点など幅広い切り口から霧島市の特長が紹介された。地域の自然や産業、活動で国内・世界から高い評価を得ているものもあり、近年の新しい取組にも繋げて発展させている状況を理解できた。



(7) **世界に誇る霧島学** 霧島市教育委員会教育部社会教育課文化財グループ 坂元 裕己氏

課題研究に取り組む初期段階として、霧島市の歴史や文化について学び、課題研究のテーマ設定の参考とした。「歴史」と「文化財」の違いや、文系探究についての説明があった。文系探究にも科学的な考察方法や手法が大切だという話があった。その後、大隅国の国分寺があった国分高校がある霧島市周辺の歴史の話があった。古事記や日本書紀でもあるように霧島市は昔から歴史的にも重要な地域であり、身近なところに興味深い探究資源があることが伝わる内容であった。





(8) **S R 研究計画発表会指導助言** 霧島市霧島ジオパーク推進課課長 竹下 淳一氏  
霧島ジオパーク専門員 石川 徹 氏

自らのテーマと研究計画を発表することで、より深くテーマを掘り下げる機会とし、互いの研究テーマについて質疑応答を行うことで、新たな仮説や研究手法に気づく機会とした。また、研究者の方に指導助言をいただくことで、より専門的な科学的見地からのアドバイスをいただき、研究の質的向上と意欲の喚起を図ることができた。



(9) **ミニ論文発表会**～国分高校から霧島市への提言～ 霧島市教育委員会

霧島市教育委員会において、観光や防災などについて提言を市に行った。霧島市教育長をはじめ、霧島市役所の農水、観光などの担当者 30 人あまりが参加した。本校生は、霧島市が運行している周遊観光バスの乗車率を上げるための方策や防災のハザードマップを確認できるスマートフォンアプリを作成した班など課題研究の成果を発表し、多くのコメントをいただいた。

